

東京同窓会だより

第 2 号

平成 20 年 5 月 12 日発行

能代高校東京同窓会

発行人：会 長 太田勝治 29 期

編集人：幹事長 菅原 渉 39 期

能代高校東京同窓会の皆さん、こんにちは！
楽しいゴールデンウィークも終わり、それぞれが仕事にそして大好きな趣味にと、日ご
ろの生活リズムに戻った頃ではないかと思えます。
本日は東京同窓会の活動状況を要約した「同窓会だより第 2 号」をお届け致しますので
どうぞご覧ください。
この同窓会だよりは、能代高校東京同窓会ホームページに掲載された資料を中心にまと
めたもので、年会費を納入して頂いた方を対象に送らせて頂いております。

◆1 今年の総会は10月4日です！

今年の能代高校東京同窓会の総会&懇親会は、10月4日（土曜日）12:00～16:30、
会場は昨年と同じアルカディア市ヶ谷（千代田区、JR中央線（各駅停車）市ヶ谷駅か
ら徒歩2分）で開催する予定です。
交通アクセスはJR線の他に、地下鉄有楽町線、南北線、都営新宿線の『市ヶ谷駅』も
利用できる大変便利な立地ですのでぜひご出席ください。

（Q）東京同窓会の総会は、例年10月の第一土曜日の開催と思っておりましたが、昨年
（2007年）はなぜ第二土曜日になったのですか？

（A）三連休を避けるためでした。

ご質問のとおりこれまで長らく10月の第一土曜日に開催してきましたが昨年は
「10月13日の第二土曜日」の開催となりました。

※それ以前は第一金曜日夕刻の時期もありました

実は前の年の2006年総会では「子供（あるいは孫）の運動会と重なるために
欠席します」との欠席理由が大変多かったのです。また「三連休を利用して旅
行に行くので欠席です」との回答も多数ありました。

調べてみますと、祝日法の改正で「体育の日」が連休を作るように毎年変動し、
土曜日から三連休になる制度に変わっておりました。
10月のこの時期は気候が良いことから運動会を行う幼稚園が多いこと、また
連休を利用して行楽に出かける人が多いこともわかりました。

そのため幹事会で皆さんが参加しやすい様に「三連休での開催は避けた方が良
い」との話になり、昨年は第二土曜日の開催になった次第です。

今年は同じ理由で連休を避けたところ、偶然にも以前と同じく10月4日の第
一土曜日の開催となりました。

開催日に関しては、ホームページやブログを通じて、できるだけ早くお知らせ
する様に努力しております。
また各種行事など、機会があるごとに色々な手法で広くお知らせをする様にし
たいと考えております。

◆2 母校の卒業式が3月2日に行われました！

平成20年3月2日（日）10時から卒業式が行われ、総勢234名が母校を巣立ちました。
今年の皆勤賞は66名と過去最高だったそうです。皆さん真面目に勉学に取り組みまし

た。特筆すべきは、卒業生の内訳で男 120 名、女 114 名とほぼ同数でした。皆さんの学生時代とは大分変わり、女性の数が随分増えたと思いませんか？

卒業式に先立ち、2月29日には「同窓会入会式」が行われました。この様な式典が行われていたことは編集人は一昨年初めて知りました。昔のことなので単に忘れてしまったのかもしれませんが・・・。
皆さんの時代にも「同窓会入会式」はありましたでしょうか？

◆3 山本達行さん(39期)が新しい校長先生になりました！

毎年、能代高校東京同窓会総会に出席して、母校のことを熱く語ってくれました井上高廣校長先生が定年で退職し、後任には山本達行さん(能代高校 39 期)が着任しました。井上前校長は生徒たちに人気の高かった先生で、ご本人も最後の卒業式を楽しみにしておりましたが、卒業式の直前に病気で倒れ皆さん大変心配しましたが、今は元気になりましたのでご安心ください。

山本新校長は「井上前校長の敷いた「夢と志を育む学校」作りの路線を引き継ぎ、生徒・職員・保護者一体となって、同窓生の誇れる生徒を育てていきたいと考えています」と抱負を語ってくれました。

◆4 新卒者へ参加を働きかけました！

個人情報保護法の関係で、新卒者の名簿の取得が困難になっています。このままでは今後の同窓会活動に支障がでることから、新卒者に直接アピールすることにしました。

「同窓会入会式」(◆2 参照ください)に出席して東京同窓会を直接PRすることも考えましたが、学校側と相談した結果、今年は「東京同窓会からの呼びかけ文」と「住所登録はがき」を配布しました。進学・就職のために関東エリアに移住する約 75 名を対象に配布し、今現在 14 名(約 2 割)の人から登録カードが送られて来ております。

本校同窓会の資料によると、卒業生は入会に際して入会費と会費で 7,200 円を支払う様ですが、これまでは同窓会とはほとんど接点が無いままに経過しておりました。そのため、今年の総会では新卒者を無料で招待して、東京同窓会の雰囲気や先輩たちとの交流を体験してもらうことを考えております。皆さんもぜひ楽しみにしててください。

◆5 19年度総会 & 懇親会(2007年10月13日開催)の集計から

その1 (各年代のバランス)

昨年度の出席者は来賓・友人等を含め総数 129 名、会員だけの数字では 107 名でした。出席者の年齢別の内訳は次項の表 1 と表 2 にまとめましたのでご覧ください。

今回の特徴として、65 才以上の『先輩層41.4%(44名)』、50～64 才の『中堅層42.1%(45名)』、49 才以下の『若者層16.8%(18名)』と、各年代の構成バランスが良くなってきたことです。

※2006年度は先輩層59.5%(50名)、中堅層23.7%(20名)、若者層16.8%(14名)でした

来年度、若者層をもう少し動員できれば、各年代共に更にバランスのとれた同窓会にできそうです。

今年は各期の幹事さんが動員に頑張ってくれました。また能高五日会(50 才以下が中心となった集まり)が積極的に頑張り、若年層のみならず各年次を超えて声をかけてくれたことが大きかったと思います。

尺八奏者ゲスト金野さん（38期）の演奏を機会に、同期の38期生には特別に「色紙別刷り案内」を同封して参加を呼びかけたところ、前年1名しかなかった出席が5名に増加しました。その後38期だけの同期会を行ったところ出席は11名になったとのことでした。

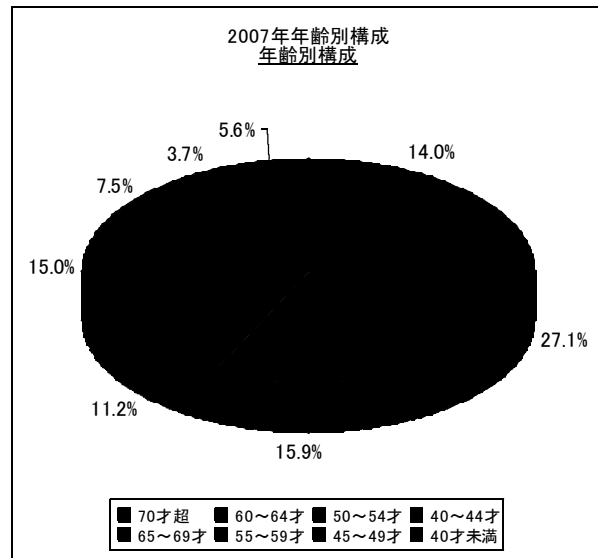
一つの集まりのきっかけが輪を広げていく良い見本ではないでしょうか。

また同じく講演会の講師をお願いした27期の若松さんの期にも、同じ方法で呼びかけましたところ、こちらも同様に成果が上がりました。

「春の海」の名演奏（38期金野さんとの共演）で会場を魅了してくれました琴奏者の清水さん（33期）は、出演が決まったのが総会の直前であったこともあり、会報誌に掲載しての案内ができず残念でした。これができていれば更に33期同期生の皆さんの動員が見込めたものと思っています。

年 齢	出席人数	割 合	累計割合
70才超	15人	14.0%	14.0%
65～69才	29人	27.1%	41.1%
60～64才	17人	15.9%	57.0%
55～59才	12人	11.2%	68.2%
50～54才	16人	15.0%	83.2%
45～49才	8人	7.5%	90.7%
40～44才	4人	3.7%	94.4%
40才未満	6人	5.6%	100%
合 計	107人		

*表 1



*表 2

*HP作成時のPDF化がうまくいかないのでも末尾に再掲しています

その2（出席者の一覧表です）

【19期】小林 肇【21期】五十嵐資和、信太吉右ヱ門【23期】矢口 裕【24期】山縣輝輔、畑江道弘、木村喜作【25期】畠 豊彦、佐々木胤麿【26期】八柳昭義、佐々木 章、畠山信孝、佐々木高博、鎌田吉郎、野呂文雄【27期】檜森 寛、大村真陸郎、梅田政男、後藤信義、若松正雄*、高砂 浩、山田邦夫、斎藤秀夫、栗原優子、加賀義介、工藤 豊、佐藤 斉【28期】石川輔宏【29期】太田勝治、関根市男、宮腰興紀、石川正順、宮腰瑞夫、鈴木元紀、佐藤晃一*、清水武久【30期】熊谷幸夫、工藤トシ子*、田村正宏、今立 駿*、相沢節夫*、田中勝美*、藤田道義【31期】長岡満夫*【32期】高田政勝【33期】皆川尚一*、清水靖子*、武田 功、矢木信章【34期】棚橋東峰*、庄内 正、長岡忠光、金田三千夫*【35期】石山 眞*、横田真理子、佐々木正男、田村 博*、干場革治、戸松大洋*【36期】深井 学、加藤和海【37期】若狭秀己、小野津世子【38期】豊嶋 誠、金野正道*、佐藤春香*、棚橋牧人*、宮腰昇*【39期】大塚 進、菅原 渉【41期】小河範也、鈴木幸男*、大久保英生【43期】福岡 武、菊池忠夫、佐藤悌弘、幸坂和彦*【44期】庄内俊憲【45期】三浦 洋、袴田邦夫、大塚雄蔵、平野信任、鎌田泰宏*、真崎 裕、高松武史、塚本裕幸*【46期】石井 喬、吉田真由美、斉藤靖雄【47期】平川 均、和平忠幸【48期】小山蒔子*、野村松信*【49期】片谷浩之、松永京子、田村盛仁【51期】袴田 亘【53期】吉田順、梶原禎子【54期】佐藤篤規*【55期】淡路和子【58期】原田長政*【62期】大高忠勉【63期】福本 円【67期】小野 立【75期】小松かおり*、小松佳徳*

◇以上会員参加者107名

◇名前の後ろに*マーク付きの人は、今年の初参加者28名です

その3 (平均年齢の上昇にブレーキ)

どこの同窓会でも平均年齢のアップ、いわゆる同窓会の高齢化が大きな問題になっております。同じメンバーだけが参加したとすると、毎年確実に1才ずつ平均年齢は上がる訳です・・・
 私たち能代高校東京同窓会も例外ではなく、この問題では随分悩んでまいりました。

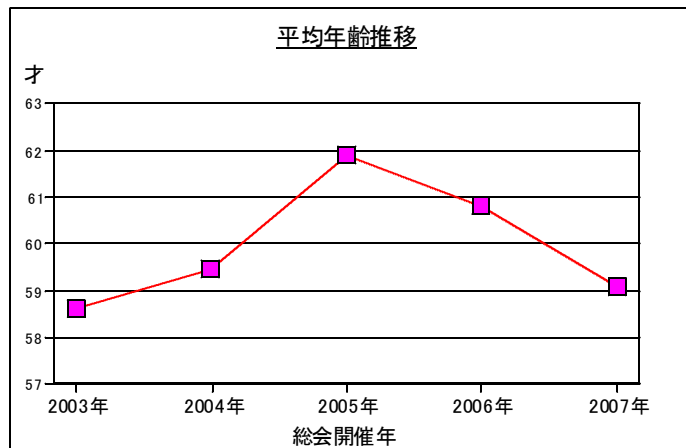
これと言った決定打が無いものの、東京同窓会では二年前から高齢化にブレーキをかけるべく様々な工夫に取り組んでまいりました。
 これまでの先輩層の確保を図りつつ、中堅層の動員と、若年層が参加しやすい様な環境作りを工夫をしたことの効果が出てきた様に思われます。

平均年齢を同じに維持するだけでも大変なことから、この二年間で約3才近くも下げられたことは、特筆すべきことと思います。

これからの東京同窓会の将来を考えますと、元気な先輩パワーに加えて若手の人たちの参加を促していく努力や工夫が是非とも必要と思われまます。
 関係者の皆様のご協力に心から感謝致します。

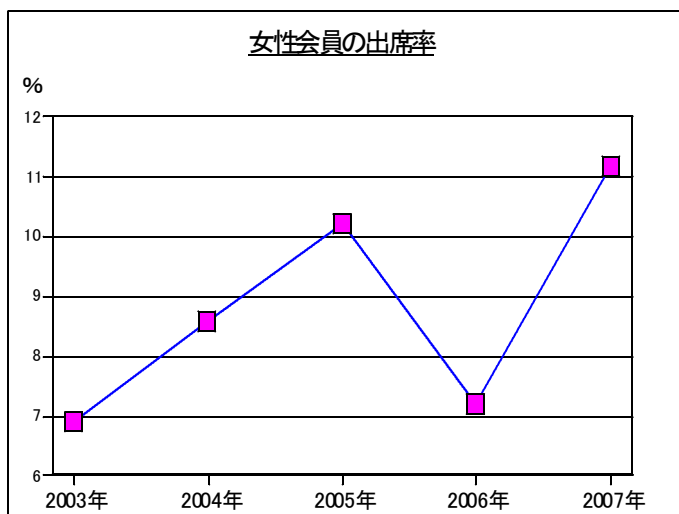
	平均年齢
2003年	58.64才
2004年	59.47才
2005年	61.92才
2006年	60.83才
2007年	59.07才

*表 3



*表 4

その4 (女性会員の参加に工夫が必要)



*表 5

左の表 5 は、女性会員の参加状況です。2007 年の出席率は、過去最高といえども、全体からみると残念ながら 11.2 % でした。

この数字を早く 20 ~ 30 % 程度に高めることが当面の課題と思っております。女性会員が増えるにつれて、総会の雰囲気もきっと華やいだものになるでしょう。

女性会員の場合、育児や家庭の仕事、そして受験期を迎えた子供の世話など、男性会員よりも参加しづらいとの声が聞こえてきます。

ですが、年一回の総会ですので、久しぶりに同級生と語らい楽しんでもらい、また翌日からの生活や仕事への活力にしてもらえたらいいなあと考えております。

今年の卒業生（第78期生）の男女別の比率が約半々になっている現状（◆2を参照ください）から、将来的には女性の参加が徐々に多くなってくると予想されます。しかしながら、ゆっくりとした自然増を待つのではなく積極的に女性会員の参加を働きかけていきたいと考えております。

女性会員が気軽に参加でき、そして大いに楽しんでもらえる雰囲気づくりも大切なことと思われまます。
皆さんからも良いアイデアがありましたらぜひお聞かせください！

その5（初参加者のリピーター率）

新しい出席者を増やしていく努力も大切なのですが、初めて参加してくれた人が翌年も来てくれる、いわゆるリピーター率を高めることも非常に大事なことです。

これまでは、せっかく総会に出て来てくれた人が『翌年は来てくれない』ケースが大変多いという現実があります。理由を聞いてみますと「①知っている人がいなくてつまらなかった」「②年寄りの集まりであり世代のギャップを感じた」がその二大理由です。

「知っている人がいる」ということは楽しめるための重要な要素です。

実は一昨年（2006年）の初参加者は13名でしたが、次の年（2007年）も参加してくれた人は8名で、全体としてのリピーター率は61.5%でした。

※「初参加者は一人にさせない」とのスローガンで、幹事さんがみんなに対応した結果、以前よりも格段にリピーター率が上がりました

さらに細かく調べてみますと面白いことに、

「能高五日会」（◆5その1を参照ください）から誘われて出席した人は、13名中6名で、この6名は翌年も全員出席し、リピーター率は100%でした。

それ以外の期では7名中2名が出席でリピーター率28.5%でしたので、大きな違いが現れました。

「能高五日会」関係者のリピーター率が高いのは、日ごろの活動や飲み会等（3カ月に一回程度の割合で行事を開催）で仲間意識が強まり、連帯感ができていることから、総会に来て「独りぼっちにならない」との理由が大きいのかも知れないと、事務局では分析しております。

②の「年寄りの集まり・・・」はキツイ言葉ですが、若い世代からすると「自分の父親」や「おじいさん」の年代と話をするようなもので、この様な感想は仕方ないのかも知れませんね・・・。

※今年卒業の78期の親の年代は38才～45才くらいとか

しかしながら、前述の100%リピーターの五日会関連の会員は、全員が50才以下の若い年次の人たちで、これまで「世代ギャップを口にしてきた年代」です。これらの人が定着したと言うことは、やはり「知っている人がいる」「話し相手がある」「独りではない」と言う点が大きいのではないのでしょうか。

東京同窓会には、趣味を同じくする会員の交流の場として

「能球会（ゴルフ同好会）」・「能高五日会（50才以下の集まり）」・「東京探訪の会（知らない東京の名所旧跡を訪ねてみよう）」・「樽子山会（65才以上の集まり）」・「能高釣りクラブ（釣り好きな人の集まり）」などの各同好会があり、その活動も非常に活発ですので、こちらの方で親密な交友関係ができあがれば、自然と総会への出席・定着に結びつくものと期待しています。

事務局としましては、これら同好会とも上手に連携して出席者の増加へ結びつけていきたいと考えております。

★以下、この「19年度総会&懇親会（2007年10月13日開催）の集計から」の続きの項目は、次回第3号（2008年7月発行予定）で引き続き掲載します。

2007年 総会出席者の年齢別構成

2007.10.13(土) 会場:アルカディア市ヶ谷

